

## 2024年夏 超短期海外派遣プログラム（スリランカ） 募集要項

### = 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会に参加し、奨学金支給に関する資料の内容を把握し、家族・保証人及び指導教員の同意を得ること。

応募説明会および春の派遣報告会：2024年5月8日（水）@大岡山 W2-401 講義室  
12:40～13:10（説明会） / 13:10-15:05（春の派遣報告会）

奨学金支給に関する資料：<https://tokyotech.box.com/s/uuoc7v3kx5fuysxn759wsunikxdkeehk>

・感染症拡大、自然災害等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、**自己負担の渡航費用、キャンセル料等が発生すること**を了承の上、応募すること。

・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

(ア) 滞在（予定）地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合

(イ) 本学が危険と判断した場合

(ウ) 滞在（予定）地域の危険情報レベルが2以上になった場合

（参考：外務省 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>）

(エ) 派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。

在スリランカ日本大使館：[https://www.lk.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.lk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

【概要】本プログラムはグローバル理工人育成コース及びアントレプレナーシップ教育・グローバル教育オプション（GEO）の一環として実施する。本学で「グローバル課題解決演習基礎」「グローバル課題解決演習概論」等の授業を担当するアーナンダ・クマラー氏が学長を務める Lanka Nippon BizTech Institute（LNBTI）の学生とのワークショップ、また、近隣の高校生との交流や、世界遺産の訪問（シーギリヤロック、ダンプッラ石窟寺院、アヌラーダプラを予定）、Taki Plaza を設計した隈研吾氏にも影響を与えたという Geoffrey Bawa(ジェフリーバワ)建築の見学等を予定。本プログラムの参加者を下記の通り募集する。

【派遣先】 スリランカ（コロンボ、アヌラーダプラ他）

【渡航期間】 2024年8月25日（日）～9月7日（土）（12泊13日）

【費用】 25～30万円程度（予定）（航空券代、および現地宿泊費）

\*ビザ代、海外旅行保険料、諸経費（現地交通費、食費等）は含まれない。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入する必要がある。

\*宿泊先はプログラム指定ホテルを利用。(2名1室または3名1室)

\*費用支援制度については下記【海外留学支援制度】を参照のこと。

該当者は奨学金：6万円が支給される場合がある。

#### 【履修単位】

- ・ 学士課程1年生の参加については「グローバル海外研修ベーシック IB (ENT.G111)」の単位が付与される(1単位)。
- ・ 学士課程2年生の参加については「グローバル海外研修ベーシック IB (LAW.X102)」の単位が付与される(1単位)。
- ・ 学士課程3年生及び4年生, また修士課程の2年生の参加については「グローバル海外研修 IB(LAW.X301)」の単位が付与される(1単位)。
- ・ 修士課程1年生の参加については、「グローバル海外研修 IB(ENT.G311)」の単位が付与される(1単位)。

学士課程4年生, 修士課程2年生の参加については, 以下の条件を満たす必要がある。

- 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず, 卒業できる見込みがある。
  - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
- ・ 上記にかかわらず, 「グローバル海外研修」等ではなく所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
  - ・ 本プログラム参加にあたっては上記に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。

#### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者, またはアントレプレナーシップ教育・グローバル教育オプション(GEO)の対象科目履修者を優先する。

[グローバル理工人育成コース所属生]

- ① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
- ② ポートフォリオに必要事項(グローバル理工人育成コースの志望動機, 所属時ループリックの入力をしている)。

\*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は, 以下の URL にて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

(応募者多数の場合は, 超短期派遣に初めて参加する者を優先します。)

[学士課程1年生]

アントレプレナーシップ教育・グローバル教育オプション(GEO)の対象科目の履修を積極的に進めている。

【応募方法】 T2form (<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/796623?lang=ja>) から申し込むこと。

【募集人数】 10名程度 (最少催行人数6名に達しない場合, プログラムを中止する場合がある。)

【選考方法】 書類審査及び面接 (面接は書類審査通過者のみに実施します。)

**【応募締切】 2024年5月24日(金) 午前9:00**

\*応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。  
その際、下記書類を必ず当該教員に確認いただくこと。

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2024/04/AA\\_approval\\_letter2024sm.pdf](http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2024/04/AA_approval_letter2024sm.pdf)

\*留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

**【面接予定日】 2024年5月30日(木), 31日(金) 大岡山キャンパス：対面予定**

**【結果通知】 6月4日(火) 16時までにメールで連絡**

**【事前・事後学習】 (注：事前学習の日程は変更になる可能性があります。)**

本プログラム参加者は、上記単位付与のためには、渡航期間を含む下記の国際教育にかかわる活動への参加が義務付けられる。

2024年6月12日(水)	12:40-13:20 @W8E-101	奨学金書類説明会(奨学金支給対象の学士課程2年生以上)
2024年6月17日(月)	13:30-15:00 @zoom	海外安全オリエンテーション
2024年6月25日(火)	12:40-13:40 @W241	書類説明会(奨学金支給対象の学士課程1年生)※ 開催場所変更の可能性あり
2024年6月26日(水)	未定	事前学習
2024年7月3日(水)	12:40-13:30 @W241	T2APPsによる留学手続き説明会
2024年6月~8月		事前学習、グループワーク各5回(日程は別途通知)
2024年8月~9月		現地研修
2024年9月~10月		成果発表会リハーサル
2024年10月		成果発表会

**【プログラム日程】 (調整中 変更の可能性あり)**

	2024/8/25	日	成田空港出発 11:35-コロンボ着 17:25
Day1	2024/8/26	月	LNBTI訪問、グループワーク
Day2	2024/8/27	火	LNBTI訪問、グループワーク/コロンボ視察
Day3	2024/8/28	水	LNBTI訪問、グループワーク/コロンボ視察
Day4	2024/8/29	木	LNBTI グループワーク中間レポート/アヌラーダブラへ移動
Day5	2024/8/30	金	アヌラーダブラ 視察(世界遺産訪問等を予定)
Day6	2024/8/31	土	アヌラーダブラ 視察(JICAプロジェクト見学等を予定)
Day7	2024/9/1	日	アヌラーダブラ 視察/シーギリヤへ移動
Day8	2024/9/2	月	シーギリヤロック登頂(天候による)
Day9	2024/9/3	火	ダンブッラ石窟寺院/コロンボへ移動
Day10	2024/9/4	水	BAWA建築見学
Day11	2024/9/5	木	LNBTI訪問、グループワーク
Day12	2024/9/6	金	LNBTI訪問、最終発表&Farewell/コロンボ発 19:50
	2024/9/7	土	成田空港到着 8:10

### 【海外留学支援制度（協定派遣）について】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）の支援対象であり、以下の要件を満たす者については、この制度により留学に係る費用の一部を奨学金（及び渡航支援金※）として支援する。

下記の奨学金の要件1.のみを満たさない場合（留学生※）については、東京工業大学基金より支援するが、その他の要件はJASSO海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

※ 国費外国人留学生については、国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金）制度の規定により、本プログラムの為の支援はない。

奨学金額（JASSO規定に基づく）：6万円

### 奨学金の支給要件

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（特別永住者を含む）。
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上である者。

#### [成績評価係数の算出方法]

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント3の単位数」×3) + (「評価ポイント2の単位数」×2) + (「評価ポイント1の単位数」×1) + (「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

※ 学士課程1年生の場合は、1Qの成績の成績評価係数を算出する。

3. 渡航を含め、31日以上(説明会・事前学習等を含む)の国際教育に関わる活動に参加すること。また、必ず単位を取得すること。

31日のうち本プログラムに関わる活動については、【事前・事後学習】を参照。

これとは別途、超短期海外派遣奨学金支給指定科目より、渡航前に実施される科目を1科目履修し、必ず単位を取得すること。

超短期海外派遣奨学金支給指定科目：

<https://tokyotech.box.com/s/42e5yua92zlnauuo6555f1vflsomikfv>

### 4. 奨学金の併給について

- 4-1. プログラム参加にあたり、本制度以外の奨学金を受ける場合、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。（本制度以外の奨学金等に航空券代等の渡航に関わる費用が含まれている場合は、その額を切り離した上で月額換算し、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。）本制度以外の奨学金支給団体側が、併給を認めない場合があるのでしっかり確認すること。

※ 返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。

- 4-2. JASSO国内の奨学金「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能。

なお、留学期間中の貸与を休止する場合は、学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

- 4-3. JASSO国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない。留学期間中の給付を停止する場合は、本制度による奨学金支給を受けることができる。学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

5. 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16万円）の支援対象となる可能性がある。

(家計基準)

家計支持者全員の収入・所得金額の合計が

給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が300万円以下

給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200万円以下

※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐにグローバル教育実施室に申し出、必要書類を確認すること。

支援対象者決定までのスケジュールについて

6月4日（火） プログラム参加可否のメール通知時に、海外留学支援制度（協定派遣）または東京工業大学基金 支援可否を通知する。

※ 学士課程1年生の場合は、IQ成績公開後の判定となる為、6月24日（月）午後の通知となる。

#### 特記事項

- ◆ 海外留学支援制度（協定派遣）の支援を受ける場合、必要な手続きや提出物があるため、「支給対象者の為の書類説明会」に必ず参加し、案内する期日までに提出物を必ず提出すること。
- ◆ 支給要件を満たさない事が後日判明した場合、また、履修状況等により本学において単位付与出来ない場合には、奨学金の支給後であっても、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
- ◆ **本プログラムへの応募を検討する際は、必ず奨学金支給条件に関する資料を確認すること**  
<<https://tokyotech.box.com/s/uuoc7v3kx5fuysxn759wsunikxdkeehk>>

#### 【問合せ先】

アントレプレナーシップ教育機構 グローバル教育実施室(Taki Plaza B1F) メールボックス:TP-004

電話:03-5734-3520 / email: [ghrd.sien@jim.titech.ac.jp](mailto:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp)